

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-52740

(P2003-52740A)

(43)公開日 平成15年2月25日(2003.2.25)

(51)Int.Cl.⁷

A 6 1 F 13/02

識別記号

3 8 0

F I

A 6 1 F 13/02

テーマコード* (参考)

3 8 0

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願2001-242504(P2001-242504)

(22)出願日 平成13年8月9日(2001.8.9)

(71)出願人 591236024

リバテープ製薬株式会社

熊本県鹿本郡植木町岩野45

(72)発明者 西迫 博行

熊本県鹿本郡植木町岩野45番地 リバテー

プ製薬株式会社内

(74)代理人 100062236

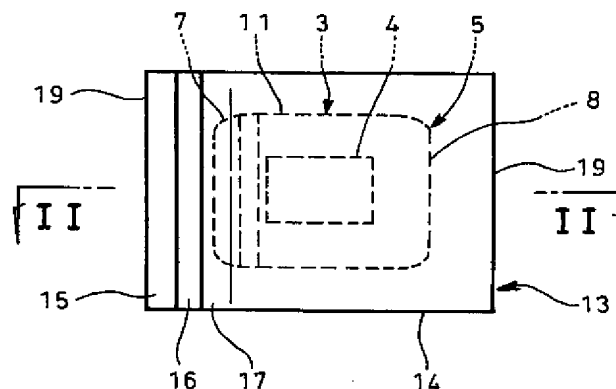
弁理士 山田 恒光 (外1名)

(54)【発明の名称】 創傷保護材

(57)【要約】

【課題】 粘着テープの粘着面を完全に露出させることなく、創傷保護パッドの位置合せをして貼付し得る創傷保護材を提供する。

【解決手段】 粘着テープ3と、粘着テープ3に貼着された創傷保護パッド4と、粘着テープ3を創傷保護パッド4ごと被覆する剥離シート5と、粘着テープ3を剥離可能に被覆する被覆フィルム11と、被覆フィルム11に接着される外包シートと、外包シートに貼着される外包剥離シート13とを備えた創傷保護材であって、粘着テープ3が、伸縮可能な不織布で形成され、被覆フィルム11が、粘着テープ3の形状を保持するよう形成され、剥離シート5が、長手セパレータ7と短手セパレータ8とに分割され、外包剥離シート13が、長手シール14と短手シール15とに分割され、且つ長手シール14を長手セパレータ7の境界部近傍位置に接着させる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 一面を粘着面とし他面を非粘着面とした粘着テープと、該粘着テープの粘着面中央に貼着された創傷保護パッドと、前記粘着テープの粘着面全域を創傷保護パッドごと被覆する剥離シートと、前記粘着テープの非粘着面全域を剥離可能に被覆する被覆フィルムと、前記粘着テープを中央に配置するよう被覆フィルムに接着される外包シートと、前記粘着テープを内包するよう外包シートに剥離可能に貼着される外包剥離シートとを備えた創傷保護材であって、

前記粘着テープが、周方向に伸縮可能な不織布で形成され、

前記被覆フィルムが、粘着テープの形状を保持するよう形成され、

前記剥離シートが、粘着テープの長手方向中途位置を境界部として長手セパレータと短手セパレータとに分割され、

前記外包剥離シートが、前記剥離シートの境界部近傍で長手シールと短手シールとに分割され、且つ前記長手シールを長手セパレータの境界部近傍位置に接着させたことを特徴とする創傷保護材。

【請求項 2】 一面を粘着面とし他面を非粘着面とした粘着テープと、該粘着テープの粘着面中央に貼着された創傷保護パッドと、前記粘着テープの粘着面全域を創傷保護パッドごと被覆する剥離シートと、前記粘着テープを中央に配置するよう粘着テープの非粘着面に剥離可能に貼着される外包シートと、前記粘着テープを内包するよう外包シートに剥離可能に貼着される外包剥離シートとを備えた創傷保護材であって、

前記粘着テープが、長手方向のみに伸縮可能な不織布で形成され、

前記剥離シートが、粘着テープの長手方向中途位置を境界部として長手セパレータと短手セパレータとに分割され、

前記外包剥離シートが、前記剥離シートの境界部近傍で長手シールと短手シールとに分割され、且つ前記長手シールを長手セパレータの境界部近傍位置に接着させたことを特徴とする創傷保護材。

【請求項 3】 一面を粘着面とし他面を非粘着面とした粘着テープと、該粘着テープの粘着面中央に貼着された創傷保護パッドと、前記粘着テープの粘着面全域を創傷保護パッドごと被覆する剥離シートと、前記粘着テープの非粘着面全域を剥離可能に被覆する被覆フィルムと、前記粘着テープを中央に配置するよう被覆フィルムに接着される外包シートと、前記粘着テープを内包するよう外包シートに剥離可能に貼着される外包剥離シートとを備えた創傷保護材であって、

前記粘着テープが、防水フィルムで形成され、

前記剥離シートが、粘着テープの長手方向中途位置を境界部として長手セパレータと短手セパレータとに分割さ

れ、

前記外包剥離シートが、前記剥離シートの境界部近傍で長手シールと短手シールとに分割され、且つ前記長手シールを長手セパレータの境界部近傍位置に接着させたことを特徴とする創傷保護材。

【請求項 4】 粘着テープと被覆フィルムを貼付した面に非貼付部を備えた請求項 1 又は 3 記載の創傷保護材。

【発明の詳細な説明】

【0001】

10 【発明の属する技術分野】本発明は、皮膚表面にできた創傷を覆って保護する創傷保護材に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の創傷保護材は、図 16～図 18 に示す如く、一面を粘着面 a とし他面を非粘着面とした粘着テープ b に、創傷保護パッド c を粘着面中央に位置するよう貼着し、粘着テープ b の粘着面 a 全域には、創傷保護パッド c ごと被覆するよう剥離シート d を備え、剥離シート d は、粘着テープ b の長手方向中途位置で第一セパレータ e と第二セパレータ f とに分割されている。

20 【0003】又、粘着テープ b の非粘着面側には、粘着テープ b を中央に配置するよう第一外包シート g を配置し、剥離シート d の反粘着テープ側には、粘着テープ b を内包するよう第一外包シート g に第二外包シート h を貼付している。ここで、第一外包シート g と第二外包シート h の貼付は、粘着テープ b の周囲を囲むよう四方をヒートシールにより剥離可能に接着すると共に、長手方向一端側の隅部にヒートシールのない部分を備えて掴み部 i を形成している。

30 【0004】創傷保護パッド c を備えた粘着テープ b を使用する際には、初めに第一外包シート g と第二外包シート h の夫々の掴み部 i を把持して第一外包シート g と第二外包シート h とを反対方向に引き剥がすことにより、剥離シート d を備えた粘着テープ b を取出し、更に粘着テープ b より剥離シート d の第一セパレータ e と第二セパレータ f を引き剥がして粘着テープ b の粘着面 a を露出させ、創傷保護パッド c を皮膚の創傷部（図示せず）にあてがうよう粘着テープ b を貼り付ける。

【0005】

40 【発明が解決しようとする課題】しかしながら、創傷保護パッド c を備えた粘着テープ b を使用する際には、第一外包シート g と第二外包シート h より取り出した粘着テープ b から、第一セパレータ e と第二セパレータ f を引き剥がして使用するため、皮膚の創傷部へ貼り付けるまでに手間と時間がかかるという問題があり、又、粘着テープ b を貼付する際には、粘着テープ b を皮膚に一度に貼付するため、皮膚の創傷部に対する創傷保護パッド c の位置合せが困難であり、しかも粘着テープ b に捻じれ等を生じ易いという問題があった。

50 【0006】本発明は上述の実情に鑑みてなしたもので、粘着テープの装着を簡便化すると共に装着時間を低

減する創傷保護材を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1は、一面を粘着面とし他面を非粘着面とした粘着テープと、該粘着テープの粘着面中央に貼着された創傷保護パッドと、前記粘着テープの粘着面全域を創傷保護パッドごと被覆する剥離シートと、前記粘着テープの非粘着面全域を剥離可能に被覆する被覆フィルムと、前記粘着テープを中央に配置するよう被覆フィルムに接着される外包シートと、前記粘着テープを内包するよう外包シートに剥離可能に貼着される外包剥離シートとを備えた創傷保護材であって、前記粘着テープが、周方向に伸縮可能な不織布で形成され、前記被覆フィルムが、粘着テープの形状を保持するよう形成され、前記剥離シートが、粘着テープの長手方向中途位置を境界部として長手セパレータと短手セパレータとに分割され、前記外包剥離シートが、前記剥離シートの境界部近傍で長手シールと短手シールとに分割され、且つ前記長手シールを長手セパレータの境界部近傍位置に接着させたことを特徴とする創傷保護材、に係るものである。

【0008】本発明の請求項2は、一面を粘着面とし他面を非粘着面とした粘着テープと、該粘着テープの粘着面中央に貼着された創傷保護パッドと、前記粘着テープの粘着面全域を創傷保護パッドごと被覆する剥離シートと、前記粘着テープを中央に配置するよう粘着テープの非粘着面に剥離可能に貼着される外包シートと、前記粘着テープを内包するよう外包シートに剥離可能に貼着される外包剥離シートとを備えた創傷保護材であって、前記粘着テープが、長手方向のみに伸縮可能な不織布で形成され、前記剥離シートが、粘着テープの長手方向中途位置を境界部として長手セパレータと短手セパレータとに分割され、前記外包剥離シートが、前記剥離シートの境界部近傍で長手シールと短手シールとに分割され、且つ前記長手シールを長手セパレータの境界部近傍位置に接着させたことを特徴とする創傷保護材、に係るものである。

【0009】本発明の請求項3は、一面を粘着面とし他面を非粘着面とした粘着テープと、該粘着テープの粘着面中央に貼着された創傷保護パッドと、前記粘着テープの粘着面全域を創傷保護パッドごと被覆する剥離シートと、前記粘着テープの非粘着面全域を剥離可能に被覆する被覆フィルムと、前記粘着テープを中央に配置するよう被覆フィルムに接着される外包シートと、前記粘着テープを内包するよう外包シートに剥離可能に貼着される外包剥離シートとを備えた創傷保護材であって、前記粘着テープが、防水フィルムで形成され、前記剥離シートが、粘着テープの長手方向中途位置を境界部として長手セパレータと短手セパレータとに分割され、前記外包剥離シートが、前記剥離シートの境界部近傍で長手シールと短手シールとに分割され、且つ前記長手シールを長手

セパレータの境界部近傍位置に接着させたことを特徴とする創傷保護材、に係るものである。

【0010】請求項1、3は、請求項4に示す如く、粘着テープと被覆フィルムを貼付した面に非貼付部を備えてもよい。

【0011】創傷保護パッドを備えた粘着テープを使用する際には、外包シートから外包剥離シートの長手シールを引き剥がして粘着テープから剥離シートの長手セパレータを剥離し、短手セパレータを残して粘着テープの粘着面を露出させることにより、粘着テープを外包シートごと創傷部の周囲にあてがって貼り付け、次に、外包シートを粘着テープの非粘着面から引き剥し、更に、短手セパレータを粘着テープの粘着面から引き剥がすことによって創傷保護パッドを備えた粘着テープを完全に貼付する。ここで、外包剥離シートの短手シールは、外包シートを粘着テープの非粘着面から引き剥すまでならば何時引き剥がしてもよいが、外包剥離シートの長手シールを引き剥がす時点で引き剥がすことが好ましい。

【0012】このように、請求項1～請求項3によれば、創傷保護パッドを備えた粘着テープを使用する際には、外包シートから外包剥離シートの長手シールを引き剥がすと同時に粘着テープから剥離シートの長手セパレータを剥離し、且つ外包シート及び外包剥離シートから粘着テープを取り出す必要がないので、粘着テープの装着を簡便化すると共に所要時間を低減することができる。又、粘着テープを貼付する際には、粘着テープの粘着面の長手方向全長を完全に露出させることなく、初めに粘着テープの長手セパレータ側の粘着面を、次に短手セパレータ側の粘着面を貼付するよう、粘着テープを長手セパレータ側と短手セパレータ側の二段階にわたって貼付するため、創傷保護パッドの位置合せを正確に行い、且つ粘着テープに捻じれ等を起さないよう適切に貼付することができる。更に、外包剥離シートの長手シールを長手セパレータごと引き剥がす際には、長手シールを長手セパレータに境界部近傍位置で接着させているので、長手シールの剥離開始から長手セパレータの剥離を迅速に追従させ、結果的に長手セパレータを容易に且つ適切に剥離することができる。

【0013】請求項1によれば、粘着テープを周囲方向に伸縮可能な不織布にしたので、曲げの多い屈折部分の創傷に使用することができ、且つ周囲方向に伸縮可能な不織布を被覆フィルムにより保持するので、製造段階や使用前等の歪みや曲げによる不織布の変形を防止することができる。

【0014】請求項2によれば、粘着テープを長手方向のみに伸縮可能な不織布にしたので、他の方向の歪みや曲げに対応して不織布を保持する被覆フィルムを不要にし、材料の点数を低減してコストを抑制することができる。

【0015】又、請求項3によれば、粘着テープを防水

フィルムにしたので、創傷部を水濡れから保護することができ、且つ防水フィルムの伸縮特性に対応した被覆フィルムを選択して防水フィルムを保持し得るので、種々の防水フィルムの変形に対応することができる。

【0016】請求項4の如く、粘着テープと被覆フィルムを貼付した面に非貼付部を備えると、外包シートを被覆フィルムごと粘着テープから引き剥す際に、非貼付部が開始地点となるので、外包シートを粘着テープから容易に引き剥すことができる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照しつつ説明する。

【0018】図1～図10は本発明を実施する形態の第一例を示すものである。

【0019】第一例の創傷保護材は、図1～図10に示す如く、一面を粘着面1とし他面を非粘着面2とした粘着テープ3に、創傷保護パッド4を粘着面1中央に位置するよう貼着しており、粘着テープ3は、略長方形で周方向に伸縮可能な不織布で形成されている。

【0020】粘着テープ3の粘着面1全域には、創傷保護パッド4ごと被覆するよう剥離シート5を備え、剥離シート5は、創傷保護パッド4の隣接位置近傍を境界部6として長手セパレータ7と短手セパレータ8とに分割されており、短手セパレータ8は、粘着テープ3の端側から粘着面1の一側部を覆うと共に創傷保護パッド4側の端部を折り返して所定幅の掴み部9を形成し、長手セパレータ7は、粘着テープ3の他端側から粘着面1の他側部及び創傷保護パッド4を覆うと共に、短手セパレータ8の掴み部9で重なり合う掴み部10を形成している。ここで、剥離シート5の境界部6は、長手セパレータ7に所定長さを備えるならば創傷保護パッド4上に存在してもよい。

【0021】粘着テープ3の非粘着面2全域には、粘着テープ3の形状を保持し且つ剥離可能に被覆する透明な被覆フィルム11を備え、被覆フィルム11の反粘着テープ側には、粘着テープ3を中央に配置するよう、粘着テープ3より一回り大きい略長方形で透明な外包シート12を貼着している。

【0022】剥離シート5の反粘着テープ側には、粘着テープ3を内包するよう外包シート12に剥離可能に貼付する略同形状の外包剥離シート13を備え、外包剥離シート13は、剥離シート5の境界部6の隣接位置で長手シール14と短手シール15とに分割されており、短手シール15は、外包シート12の端側から短手セパレータ8を覆うと共に創傷保護パッド4側の端部を折り返して所定幅の掴み部16を形成し、長手シール14は、外包シート12の他端側から長手セパレータ7を覆うと共に、短手シール15の掴み部で重なり合う掴み部17を形成し、更に境界部近傍位置18でホットメルト融着により長手セパレータ7と接着している。又、外包シ

ト12と外包剥離シート13の長手方向両端部には両者を接着する接続部19を形成している。

【0023】以下、本発明を実施する形態の第一例の作用を説明する。

【0024】第一例の粘着テープ3を使用する際には、図4～図6に示す如く、短手シール15と長手シール14の掴み部17、16を夫々把持して外包シート12から引き剥がすことにより粘着テープ3から剥離シート5の長手セパレータ7を剥離し、短手セパレータ8を残して粘着テープ3の粘着面1を露出させることにより、創傷保護パッド4を皮膚の創傷部（図示せず）に合致させるよう粘着テープ3を外包シート12及び外包剥離シート13ごと創傷部の周囲にあてがって貼り付ける。ここで、短手シール15と長手シール14を外包シート12から引き剥がす際には、短手シール15と長手シール14が外包シート12と接続部19で接続し、一体化している。

【0025】続いて、図7～図10に示す如く、外包剥離シート13及び外包シート12を被覆フィルム11ごと粘着テープ3の非粘着面2から引き剥して、創傷保護パッド4を備えた粘着テープ3と、短手セパレータ8とを残し、更に、短手セパレータ8の掴み部9を把持して粘着テープ3の粘着面1から引き剥がすことにより創傷保護パッド4を備えた粘着テープ3を完全に貼付する。

【0026】このように、創傷保護パッド4を備えた粘着テープ3を使用する際には、外包シート12から外包剥離シート13の長手シール14を引き剥がすと同時に粘着テープ3から剥離シート5の長手セパレータ7を剥離し、且つ外包シート12及び外包剥離シート13から粘着テープ3を取り出す必要がないので、粘着テープ3の装着を簡便化すると共に所要時間を低減することができる。

【0027】又、粘着テープ3を貼付する際には、粘着テープ3の粘着面1の長手方向全長を完全に露出させることなく、初めに粘着テープ3の長手セパレータ7側の粘着面1を、次に短手セパレータ8側の粘着面1を貼付するよう、粘着テープ3を長手セパレータ7側と短手セパレータ8側の二段階に亘って貼付するため、創傷保護パッド4の位置合せを正確に行い、且つ粘着テープ3に捻じれ等を起さないよう適切に貼付することができる。

【0028】更に、外包剥離シート13の長手シール14を長手セパレータ7ごと引き剥がす際には、ホットメルト融着により長手シール14を長手セパレータ7に境界部近傍位置18で接着させているので、長手シール14の剥離開始から長手セパレータ7の剥離を迅速に追従させ、結果的に長手セパレータ7を容易に且つ適切に剥離することができる。ここで、長手シール14の接着部分が境界部近傍位置18にない場合には、長手シール14による剥離の応力が長手セパレータ7に迅速に伝わらず、適切に剥離することができない。

【0029】更に又、粘着テープ3を周囲方向に伸縮可能な不織布にしたので、曲げの多い肘、膝等の屈折部分の創傷に使用することができ、且つ周囲方向に伸縮可能な不織布を被覆フィルム11により保持するので、製造段階や使用前等の歪みや曲げによる不織布の復元不能な変形を防止することができる。

【0030】又、外包シート12と被覆フィルム11を透明な材質で形成するので、粘着テープ3の形状及び創傷保護パッド4の位置を外包シート12側から確認し、粘着テープ3を皮膚の創傷部に適確に貼付することができる。

【0031】図11～図13は本発明を実施する形態の第二例を示すもので、図1と同一の符号を付した部分は同一物を表わしている。

【0032】第二例の創傷保護材は、図11～図13に示す如く、一面を粘着面20とし他面を非粘着面21とした粘着テープ22に、創傷保護パッド4を粘着面中央に位置するよう貼着しており、粘着テープ22は、略長方形で長手方向にのみ伸縮可能な不織布で形成されている。

【0033】粘着テープ22の粘着面20全域には、第一例と略同様な長手セパレータ7と短手セパレータ8とに分割される剥離シート5を備えている。

【0034】粘着テープ22の非粘着面21には、第一例と略同様な外包シート12を貼着し、剥離シート5の反粘着テープ側には、第一例と略同様な長手シール14と短手シール15とに分割される外包剥離シート13を備えている。

【0035】以下、本発明を実施する形態の第二例の作用を説明する。

【0036】第二例の粘着テープ22を使用する際には、第一例の手順と同様に、短手シール15と長手シール14を外包シート12から引き剥がして長手セパレータ7を剥離し、短手セパレータ8を残して粘着テープ22の粘着面20を露出させることにより粘着テープ22を創傷部の周囲にあてがって貼り付け、次に、外包剥離シート13及び外包シート12を粘着テープ22の非粘着面21から引き剥すことにより粘着テープ22と短手セパレータ8を残し、更に、短手セパレータ8を粘着テープ22の粘着面20から引き剥がすことによって創傷保護パッド4を備えた粘着テープ22を完全に貼付する。

【0037】このように、第二例は、第一例と同様な作用効果を得ることができ、又、粘着テープ22を長手方向のみに伸縮可能な不織布にしたので、他の方向の歪みや曲げに対応して不織布を保持する第一例の如き被覆フィルム11を不要にし、材料の点数を低減してコストを抑制することができる。

【0038】図14、図15は本発明を実施する形態の第三例を示すもので、図1と同一の符号を付した部分は

同一物を表わしている。

【0039】第三例の創傷保護材は、図14、図15に示す如く、一面を粘着面23とし他面を非粘着面24とした粘着テープ25に、創傷保護パッド4を粘着面中央に位置するよう貼着しており、粘着テープ25は、略長方形で防水フィルムで形成されている。

【0040】粘着テープ25の粘着面23全域には、第一例と略同様な長手セパレータ7と短手セパレータ8とに分割される剥離シート5を備え、粘着テープ25の非粘着面24全域には、剥離可能に被覆する透明な被覆フィルム11を貼着し、粘着テープ25と被覆フィルム11を貼付した非粘着面24には、長手セパレータ7側端部に、粘着テープ25の面積の3%～15%に相当する非融着部（非貼付部）26を形成している。

【0041】被覆フィルム11の反粘着テープ側には、第一例と略同様な外包シート12を貼着し、剥離シート5の反粘着テープ側には、第一例と略同様な長手シール14と短手シール15とに分割される外包剥離シート13を備えている。

【0042】以下、本発明を実施する形態の第三例の作用を説明する。

【0043】第三例の粘着テープ25を使用する際には、第一例の手順と同様に、短手シール15と長手シール14を外包シート12から引き剥がして長手セパレータ7を剥離し、短手セパレータ8を残して粘着テープ25の粘着面23を露出させることにより粘着テープ25を創傷部の周囲にあてがって貼り付け、次に、長手シール14の先端を持って反対方向へゆっくり剥がすことにより、外包剥離シート13及び外包シート12を被覆フィルム11ごと粘着テープ25の非粘着面24から引き剥して粘着テープ25と短手セパレータ8を残し、更に、短手セパレータ8を粘着テープ25の粘着面23から引き剥がすことによって創傷保護パッド4を備えた粘着テープ25を完全に貼付する。

【0044】このように、第三例は、第一例と同様な作用効果を得ることができ、又、粘着テープ25を防水フィルムにしたので、創傷部を水濡れから保護することができ、且つ防水フィルムの伸縮特性に対応した被覆フィルム11を選択して防水フィルムを保持し得るので、種々の防水フィルムの変形に対応することができる。

【0045】更に、第三例は、粘着テープ25と被覆フィルム11を貼付する非粘着面24に非融着部26を備えると、外包シート12を被覆フィルムごと粘着テープ25の非粘着面24から引き剥す際に、非融着部26が開始地点となるので、外包シート12を粘着テープ25の非粘着面24から容易に引き剥すことができる。ここで、非融着部26の面積が粘着テープ25の面積の3%より小さい場合には、外包シート12を容易に引き剥すことができず、非融着部26の面積が粘着テープ25の面積の15%より大きい場合には、外包剥離シート13

を引き剥がす際に、被覆フィルム11が誤って外包シート12より剥離するという問題がある。又、特に好ましくは、非融着部26の面積を8%~13%した場合が優れている。

【0046】なお、本発明の創傷保護材は、上述の形態例にのみ限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内において種々変更を加え得ることは勿論である。

【0047】

【発明の効果】本発明の創傷保護材によれば、下記の如き、種々の優れた効果を奏し得る。

【0048】I) 請求項1~請求項3によれば、創傷保護パッドを備えた粘着テープを使用する際には、外包シートから外包剥離シートの長手シールを引き剥がすと同時に粘着テープから剥離シートの長手セパレータを剥離し、且つ外包シート及び外包剥離シートから粘着テープを取り出す必要がないので、粘着テープの装着を簡便化すると共に所要時間を低減することができる。又、粘着テープを貼付する際には、粘着テープの粘着面の長手方向全長を完全に露出させることなく、初めに粘着テープの長手セパレータ側の粘着面を、次に短手セパレータ側の粘着面を貼付するよう、粘着テープを長手セパレータ側と短手セパレータ側の二段階にわたって貼付するため、創傷保護パッドの位置合せを正確に行い、且つ粘着テープに捻じれ等を起さないよう適切に貼付することができる。更に、外包剥離シートの長手シールを長手セパレータごと引き剥がす際には、長手シールを長手セパレータに境界部近傍位置で接着させているので、長手シールの剥離開始から長手セパレータの剥離を迅速に追従させ、結果的に長手セパレータを容易に且つ適切に剥離することができる。

【0049】II) 請求項1によれば、粘着テープを周囲方向に伸縮可能な不織布にしたので、曲げの多い屈折部分の創傷に使用することができ、且つ周囲方向に伸縮可能な不織布を被覆フィルムにより保持するので、製造段階や使用前等の歪みや曲げによる不織布の変形を防止することができる。

【0050】III) 請求項2によれば、粘着テープを長手方向のみに伸縮可能な不織布にしたので、他の方向の歪みや曲げに対応して不織布を保持する被覆フィルムを不要にし、材料の点数を低減してコストを抑制することができる。

【0051】IV) 請求項3によれば、粘着テープを防水フィルムにしたので、創傷部を水濡れから保護することができ、且つ防水フィルムの伸縮特性に対応した被覆フィルムを選択して防水フィルムを保持し得るので、種々の防水フィルムの変形に対応することができる。

【0052】V) 請求項4の如く、粘着テープと被覆フィルムを貼付した面に非貼付部を備えると、外包シートを被覆フィルムごと粘着テープから引き剥がす際に、非貼

付部が開始地点となるので、外包シートを粘着テープから容易に引き剥がすことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の創傷保護材を実施する形態の第一例を示す正面図である。

【図2】図1のII-II方向拡大矢視図である。

【図3】創傷保護パッドを備えた粘着テープを示す正面図である。

【図4】外包剥離シートを上面にした状態を示す斜視図である。

【図5】外包剥離シートの長手シール及び短手シールを剥離した状態を示す斜視図である。

【図6】皮膚の創傷部に創傷保護パッドを位置させるよう粘着テープを外包剥離シートごとあてがう状態を示す概略図である。

【図7】粘着テープを皮膚に貼り付けて、外包シート、外包剥離シート、長手セパレータ及び被覆フィルムを引き剥がす状態を示す概略図である。

【図8】短手セパレータを残して粘着テープを皮膚に貼り付けた状態を示す概略図である。

【図9】短手セパレータを粘着テープより引き剥がす状態を示す概略図である。

【図10】創傷保護パッドを備えた粘着テープを皮膚に取付けた状態を示す概略図である。

【図11】本発明の創傷保護材を実施する形態の第二例を示す正面図である。

【図12】図11のXI-XI方向拡大矢視図である。

【図13】創傷保護パッドを備えた粘着テープを示す正面図である。

【図14】本発明の創傷保護材を実施する形態の第三例を示す正面図である。

【図15】図14のXV-XV方向拡大矢視図である。

【図16】従来例の創傷保護材を示す斜視図である。

【図17】外包シートを引き剥がす状態を示す概略図である。

【図18】粘着テープより剥離シートを剥離した状態を示す概略図である。

【符号の説明】

- 1 粘着面
- 2 非粘着面
- 3 粘着テープ
- 4 創傷保護パッド
- 5 剥離シート
- 6 境界部
- 7 長手セパレータ
- 8 短手セパレータ
- 11 被覆フィルム
- 12 外包シート
- 13 外包剥離シート

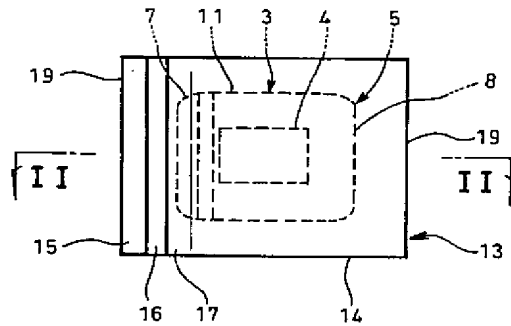
11

12

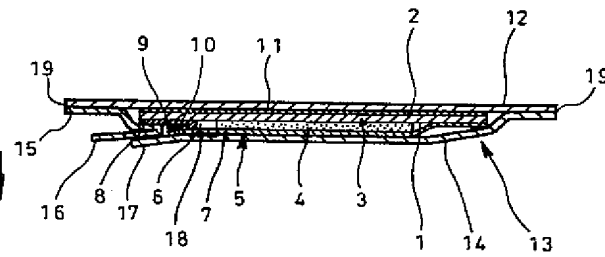
- 14 長手シール
15 短手シール
18 境界部近傍位置
20 粘着面
21 非粘着面

- 22 粘着テープ
23 粘着面
24 非粘着面
25 粘着テープ
26 非融着面 (非貼付部)

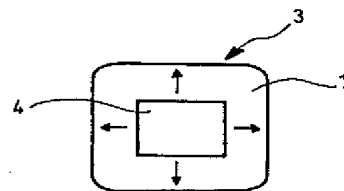
【図1】



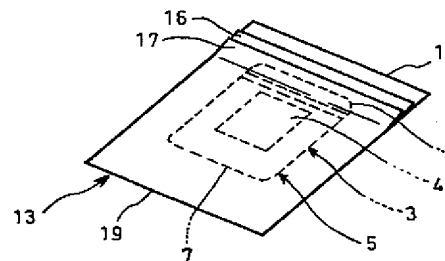
【図2】



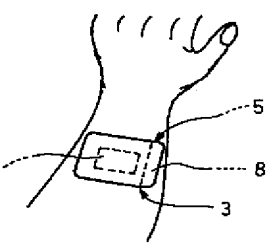
【図3】



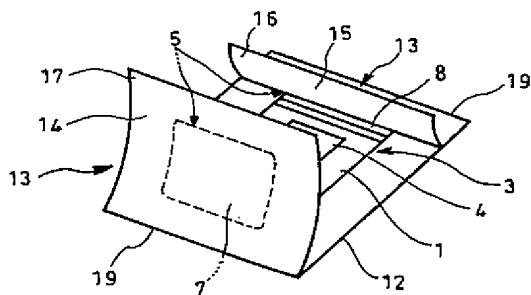
【図4】



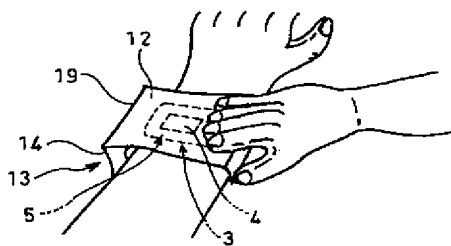
【図8】



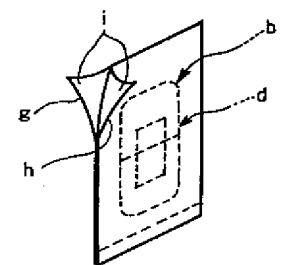
【図5】



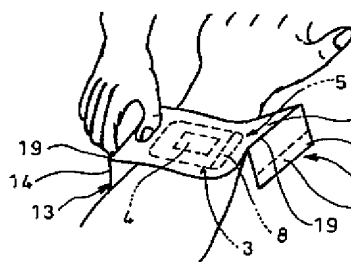
【図6】



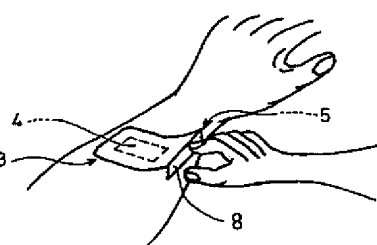
【図16】



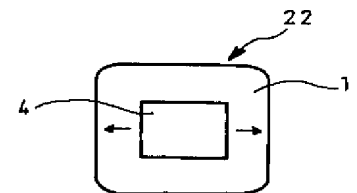
【図7】



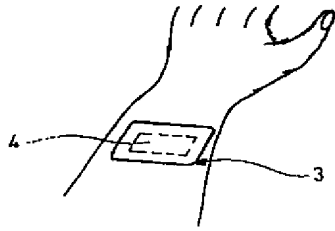
【図9】



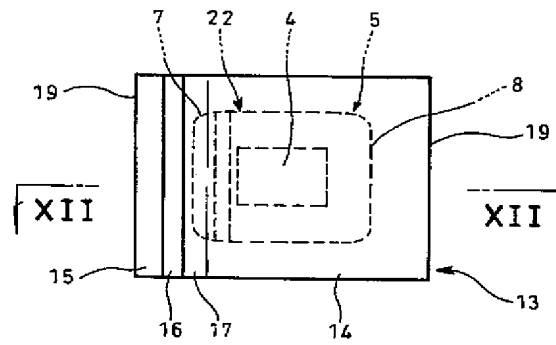
【図13】



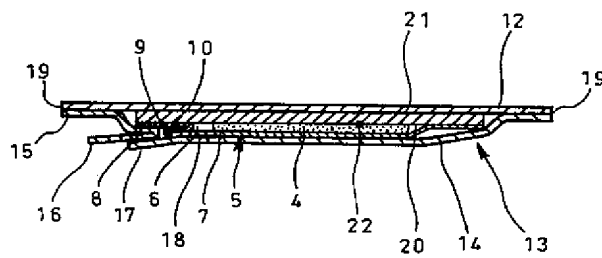
【図10】



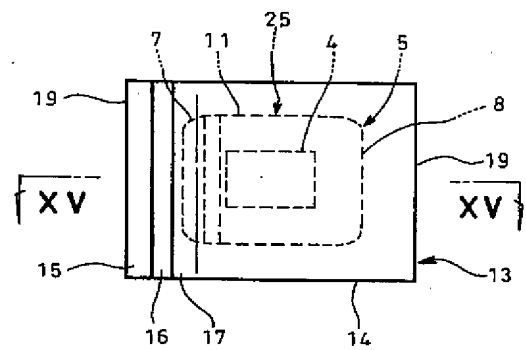
【図11】



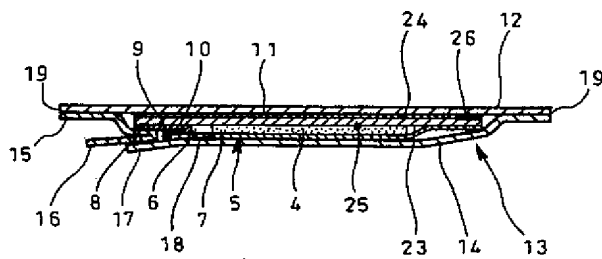
【図12】



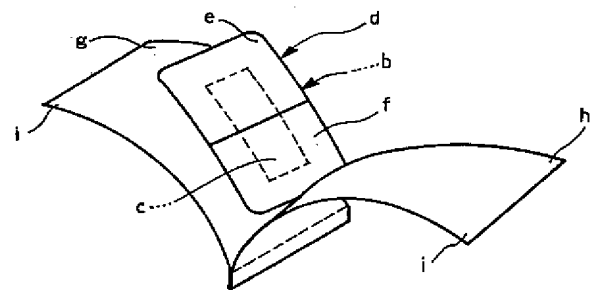
【図14】



【図15】



【図17】



【図18】

